

経営学特講		王 効平		
--------------	--	-------------	--	--

配当年次	1 年次	配当学期	集 中	科目区分	エグゼクティブ
単位数	2 単位	必修・選択	選 択	授業形態	講 義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標	
知識・理解	理論知識		
	実践知識	○	海外ビジネススクールのカリキュラムに接し、その現地社会的ニーズへの対応を実体験する。
技能	分析解決技能		
	実務技能	○	外国語による講義受講、卒業生ネットワークに接することによってコミュニケーション力を高める。
	新規事業技能	○	ビジネスの種、パートナーの発見ができ、国際的新規事業創出ができる能力を修得する。
態度	倫理観態度		
	企業変革態度		
	地域リーダー態度		
	国際協調態度	○	異文化を実体験することによって相互理解の態度と協調的姿勢を修得する。

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

経営学特講

※2013 年度以降入学生が対象です。

授業の概要

経済のグローバル化が急ピッチに進んでいる中、長期低迷に喘いできた地域経済を活性化させるために、広い視野を持ち、国際感覚を有するリーダー人材の育成が急務である。経営系専門職大学院（以下ではビジネススクール）が地域産業や社会を背負って立つリーダー養成の責務を担っており、海外ビジネススクールや現地系企業・多国籍企業等における研修の機会（現場体験が可能な実践的教育プログラム）を学生に提供することによってコミュニケーション能力の向上と異文化交流の促進効果を生むと共に、グローバル的なビジネスの開拓・促進に寄与することが期待されている。

本特講は日本と強い相互依存関係にあり、高成長を継続させている中華圏や東南アジアにおける視察研修を主要内容とする。企業視察やビジネススクールとの直接交流を通じて、国際感覚の養成、海外ビジネスの実体験、ビジネスネットワーク（人脈）作りを狙う。開講時期は夏季集中講義期間中の予定（訪問先と日時について受け入れ先との調整を図る必要あり、5月末に確定）。

教科書

特定のテキストは使用しないが、事前に研修計画書、海外活動の注意事項（マニュアル）を策定し、配布する。

参考書

- ・研修先の紹介資料
- ・過年度の海外研修報告書
- ・他に必要に応じて紹介する

授業計画・内容

- 1 出発前のオリエンテーション
- 2 現地ビジネススクールによる特別講義Ⅰ
- 3 現地ビジネススクールによる特別講義Ⅱ
- 4 現地企業経営者による特別講義Ⅲ
- 5 現地ビジネススクール開講講義参観
- 6 ビジネススクール在學生との交流イベント
- 7 ビジネススクール卒業生との交流イベント
- 8 現地系企業視察A
- 9 現地系企業視察B
- 10 現地日系法人視察C
- 11 現地外資誘致当局ヒアリング
- 12 現地開発区参観
- 13 現地における研修成果共同発表&パネルディスカッション
- 14 レポート提出
- 15 帰校後の成果発表（グループ）

成績評価の方法	企画準備・現地活動への参加度 60% 課題レポートの完成度 40%
事前・事後学習の内容	事前に必読資料を配布する予定 改めて指示する
履修上の注意	一定程度の語学力を自ら身につけることが望まれる 出発前に求められる準備事項に責任を持って取り組むこと 訪問先の慣習や制度を尊重すること 集団参加のプログラムであるため、協調性を持ち、単独行動を取らないことを望む
担当者からのメッセージ	視野が確実に広がる！ 必ず得るものがある！ 人生観が変わるかも！
キーワード	